

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	課目名	美容技術理論	学年	1・2年
担当教員	川上 理子	学科	美容総合科（ヘア）	時限数	166時限

授業内容	○美容で使用する器具→美容で使用する主な機械器具について物理の基本事項を学ばせるとともに、人間の手と器具の動き、美容器具の種類と特徴などについて理解させる ○基礎技術→美容技術の意義を学ばせ、技術を行う場合の心得を知らせる ○頭部、顔部及び頸部技術→スカルプトリートメント、ヘアトリートメント、ヘアシャンプー・ヘアリンス技術、ヘアカットting、パーマネットウェービング、ヘアセッティング、ヘアカラーリングなどの基礎的な頭部技術の目的、種類、特徴、技術上の注意などについて学ばせる ○特殊技術→エステティック技術、ネイル技術などの美容の特殊技術の目的、種類、特徴、技術上の注意点などについて学ばせる ○和装技術→日本髪基礎知識、技術の実際について学ばせる ○美容デザイン→美容におけるヘアデザインの造形の意義とその応用などについて学ばせる
授業目標	○美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力とを身につけさせる ○美容の業務を安全かつ効果的に行うため、美容器具の正確な科学的知識と合理的思考に裏付けされた正しい取り扱いの方法と美容の基礎的技術とを作業の実際に即して指導し習熟させること あわせて美容器具による危害を防止するための使用上の注意を学ばせること ○優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調する
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	担当教員は1998年に美容師免許を取得ののち、美容室への出向も経験しながら、教員として勤務する 現在では双方の経験を活かした授業を展開する

授業計画及び学習の内容

1	国家試験と美容技術理論について	85	7章 ヘアカラーリング
2		86	
3	序章 美容技術理論を学ぶにあたって	87	7章 ヘアカラーリング
4		88	
5	序章 美容技術理論を学ぶにあたって	89	7章 ヘアカラーリング
6		90	7章 小テスト
7	序章 国家試験過去問題	91	後期試験勉強
8	1章 美容用具	92	
9	1章 美容用具	93	1年生 復習テスト
10		94	6章 ヘアセッティング

11	1章 美容用具	95	6章 ヘアセッティング
12		96	
13	序章・1章 小テスト	97	6章 ヘアセッティング
14	5章 パーマネントウェーブ	98	
15	5章 パーマネントウェーブ	99	6章 ヘアセッティング
16		100	
17	5章 パーマネントウェーブ	101	6章 ヘアセッティング
18		102	
19	5章 パーマネントウェーブ	103	6章 小テスト
20		104	8章 エステティック
21	5章 パーマネントウェーブ	105	8章 エステティック
22		106	
23	5章 パーマネントウェーブ	107	8章 エステティック
24		108	
25	序章・1章・5章 まとめテスト	109	8章 エステティック
26	3章 ヘアデザイン	110	
27	3章 ヘアデザイン	111	8章 エステティック
28		112	
29	3章 ヘアデザイン	113	8章 エステティック
30		114	
31	3章 ヘアデザイン	115	8章 小テスト
32		116	9章 ネイル技術
33	3章 ヘアデザイン	117	9章 ネイル技術
34		118	
35	前期試験勉強	119	9章 ネイル技術
36		120	
37	前期試験復習	121	9章 ネイル技術
38	4章 ヘアカット	122	

39	4章 ヘアカット	123	9章 ネイル技術
40		124	
41	4章 ヘアカット	125	9章 小テスト
42		126	10章 メイクアップ
43	4章 ヘアカット	127	10章 メイクアップ
44		128	
45	4章 ヘアカット	129	10章 メイクアップ
46		130	
47	4章 ヘアカット	131	10章 メイクアップ
48		132	
49	4章 小テスト	133	10章 メイクアップ
50	2章 シャンプー	134	
51	2章 シャンプー	135	10章 メイクアップ
52		136	
53	2章 シャンプー	137	10章 メイクアップ
54		138	10章 小テスト
55	2章 シャンプー	139	前期試験勉強
56		140	
57	2章 シャンプー	141	教科書全範囲 総復習
58		142	
59	2章 小テスト	143	教科書全範囲 総復習
60	12章 着付の理論と技術	144	
61	12章 着付の理論と技術	145	教科書全範囲 総復習
62		146	
63	12章 着付の理論と技術	147	教科書全範囲 総復習
64		148	
65	12章 着付の理論と技術	149	教科書全範囲 総復習
66		150	

67	12章 着付の理論と技術	151	教科書全範囲 総復習
68		152	
69	12章 着付の理論と技術	153	教科書全範囲 総復習
70		154	
71	12章 小テスト	155	教科書全範囲 総復習
72	11章 日本髪	156	
73	11章 日本髪	157	教科書全範囲 総復習
74		158	
75	11章 日本髪	159	国家試験対策
76		160	
77	11章 日本髪	161	
78		162	
79	11章 日本髪	163	国家試験対策
80		164	
81	11章 小テスト	165	
82	7章 ヘアカラーリング	166	
83	7章 ヘアカラーリング		
84			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	課目名	衛生管理	学年	1・2年
担当教員	澤舘 亮	学科	美容総合科（ヘア）	時限数	100時限

授業内容	○公衆衛生概説→公衆衛生の意義について理解させるとともに、公衆衛生が日常生活あるいは美容業とどのように結びつくか、公衆衛生の発展向上のために美容師として何をなすべきかを理解させる ○感染症→美容の業務を行う上で、どのような感染症に注意すべきかを具体的に示すとともに、その予防対策について系統的に理解させる ○環境衛生→環境衛生の意義と内容を理解させるとともに、美容所において特に注意しなければならない点について理解させる ○衛生管理技術→美容所における衛生管理、特に消毒の意義と目的について理解させる
授業目標	○公衆衛生の意義と本質を明らかにすることによって、美容師が公衆衛生の維持と増進とについて重大な責務を担わなければならない理由は何かを十分に理解させる 特に、環境衛生の意義と目的について、美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させる ○美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の保持との具体的な関連付けを重視して、美容における衛生措置の重要性について理解させる 特に、美容器具などの消毒法は、美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であるので、その意義と原理について十分に理解させるとともに、その適正な実施方法を身に付けさせる
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	担当教員は、2006年に美容師免許を取得し同年から約9年間の実務経験を経て美容教員となる 現在では双方の経験を活かした授業を展開する

授業計画及び学習の内容

1	第1編 公衆衛生	51	第2章 消毒法各論
2	第1章 公衆衛生の概要（1節・2節・3節・4節）	52	（1節 理学的消毒法（殺菌法））
3	第2章 保健	53	第2章 消毒法各論
4	（1節1 母子保健・1節2 成人、高齢者保健）	54	（1節 理学的消毒法（殺菌法））
5	第2章 保健	55	第2章 消毒法各論
6	（1節2 成人、高齢者保健）	56	（2節 化学的消毒法（殺菌法））
7	第2章 保健	57	第2章 消毒法各論
8	（1節3 精神保健）	58	（2節 化学的消毒法（殺菌法）） 3節 すぐれた消毒法とその実施上の注意）
9	第1編 公衆衛生まとめ	59	第3章 消毒法実習
10		60	（1節 各種消毒薬）

11	第1編 公衆衛生まとめ・小テスト	61	第3章 消毒法実習 (2節 理容所美容所の消毒の実際)
12		62	
13	第2編 環境衛生 第1章 環境衛生 (1節 環境衛生の概要)	63	第3章 消毒法実習 (3節 理容所美容所の清潔法の実際)
14		64	
15	第1章 環境衛生 (2節 空気環境)	65	第4編 衛生管理技術まとめ
16		66	
17	第1章 環境衛生 (3節 衣服、住居の衛生)	67	第4編 衛生管理技術まとめ
18		68	
19	第1章 環境衛生 (4節 上下水道と廃棄物・5節 衛生害虫と ネズミ・6節 環境保全)	69	第4編 衛生管理技術まとめ・小テスト
20		70	
21	第2編 環境衛生まとめ	71	第4編 衛生管理技術まとめ・小テスト
22		72	
23	第2編 環境衛生まとめ・小テスト	73	消毒薬使用液の希釈・計算練習問題
24		74	
25	第3編 感染症 第1章 感染症の総論 (1節 人と感染症)	75	教科書全範囲 総復習
26		76	
27	第1章 感染症の総論 (1節 人と感染症・2節 病原微生物)	77	教科書全範囲 総復習
28		78	
29	第1章 感染症の総論 (2節 病原微生物・3節 感染症の予防)	79	教科書全範囲 総復習
30		80	
31	第2章 感染症の各論 (1節 理容業美容業と感染症・2節 主な 感染症)	81	教科書全範囲 総復習
32		82	
33	第2章 感染症の各論 (2節 主な感染症)	83	教科書全範囲 総復習
34		84	
35	第2章 感染症の各論 (3節 具体的な対策の例)	85	教科書全範囲 総復習
36		86	
37	第3編 感染症まとめ	87	教科書全範囲 総復習
38		88	

39	第3編 感染症まとめ	89	教科書全範囲 総復習
40		90	
41	第3編 感染症まとめ・小テスト	91	教科書全範囲 総復習
42		92	
43	第3編 感染症まとめ・小テスト	93	国家試験対策
44		94	
45	第4編 衛生管理技術	95	
46	第1章 消毒法総論 (1節 消毒とは・2節 消毒の意義)	96	
47	第1章 消毒法総論 (3節 理容美容の業務と消毒との関係	97	国家試験対策
48	4節 消毒法と適用上の注意)	98	
49	第1章 消毒法総論	99	
50	(4節 消毒法と適用上の注意)	100	

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	課目名	美容技術理論	学年	1・2年
担当教員	黒田 文美	学科	美容総合科（トータル）	時限数	166時限

授業内容	○美容で使用する器具→美容で使用する主な機械器具について物理の基本事項を学ばせるとともに、人間の手と器具の動き、美容器具の種類と特徴などについて理解させる ○基礎技術→美容技術の意義を学ばせ、技術を行う場合の心得を知らせる ○頭部、顔部及び頸部技術→スカルプトリートメント、ヘアトリートメント、ヘアシャンプー・ヘアリンス技術、ヘアカット、パーマ・ウェーブ、ヘアセット、ヘアカラーリングなどの基礎的な頭部技術の目的、種類、特徴、技術上の注意などについて学ばせる ○特殊技術→エステティック技術、ネイル技術などの美容の特殊技術の目的、種類、特徴、技術上の注意点などについて学ばせる ○和装技術→日本髪基礎知識、技術の実践について学ばせる ○美容デザイン→美容におけるヘアデザインの造形の意義とその応用などについて学ばせる
授業目標	○美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力とを身につけさせる ○美容の業務を安全かつ効果的に行うため、美容器具の正確な科学的知識と合理的思考に裏付けされた正しい取り扱いの方法と美容の基礎的技術とを作業の実践に即して指導し習熟させること あわせて美容器具による危害を防止するための使用上の注意を学ばせること ○優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調する
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	担当教員は2000年に美容師免許を取得し約3年の美容室勤務ののち、教員となる 現在では双方の経験を活かした授業を展開する

授業計画及び学習の内容

1		85	
2	序章 美容理論を学ぶにあたって	86	11章 日本髪
3		87	
4	序章 美容技術理論を学ぶにあたって	88	11章 日本髪
5	小テスト	89	小テスト
6		90	
7		91	
8	9章 ネイル技術	92	後期学科試験対策
9		93	
10		94	
11	9章 ネイル技術	95	後期学科試験解答・解説
12		96	

13		97	
14	9章 ネイル技術	98	2章 シャンプーイング
15		99	
16		100	
17	9章 ネイル技術 小テスト	101	2章 シャンプーイング
18		102	
19		103	
20	6章 ヘアセッティング	104	2章 シャンプーイング 小テスト
21		105	
22		106	
23	12章 着付けの理論と技術	107	3章 ヘアデザイン
24		108	
25		109	
26	6章 ヘアセッティング	110	3章 ヘアデザイン 小テスト
27		111	
28		112	
29	1章 美容用具	113	4章 ヘアカットイング
30		114	
31		115	
32	1章 美容用具	116	4章 ヘアカットイング
33		117	
34		118	
35	1章 美容用具 小テスト	119	4章 ヘアカットイング 小テスト
36		120	
37		121	
38	10章 メイクアップ	122	7章 ヘアカラーリング
39		123	
40		124	
41	10章 メイクアップ	125	7章 ヘアカラーリング
42		126	
43		127	
44	10章 メイクアップ	128	7章 ヘアカラーリング 小テスト
45		129	
46		130	
47	10章 メイクアップ 小テスト	131	前期学科試験対策
48		132	

49		133	
50	8章 エステティック	134	前期学科試験解答・解説
51		135	
52		136	
53	8章 エステティック 小テスト	137	教科書全範囲 総復習
54		138	
55		139	
56	前期学科試験対策	140	教科書全範囲 総復習
57		141	
58		142	
59	前期学科試験解答・解説	143	教科書全範囲 総復習
60		144	
61		145	
62	5章 パーマネントウェービング	146	教科書全範囲 総復習
63		147	
64		148	
65	5章 パーマネントウェービング	149	教科書全範囲 総復習
66		150	
67		151	
68	5章 パーマネントウェービング 小テスト	152	教科書全範囲 総復習
69		153	
70		154	
71	6章 ヘアセッティング	155	教科書全範囲 総復習
72		156	
73		157	教科書全範囲 総復習
74	6章 ヘアセッティング	158	
75		159	
76		160	国家試験対策
77	6章 ヘアセッティング 小テスト	161	
78		162	
79		163	
80	12章 着付けの理論と技術	164	国家試験対策
81		165	
82		166	
83	12章 着付けの理論と技術		
84			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	課目名	衛生管理	学年	1・2年
担当教員	金子 真弓	学科	美容総合科（トータル）	時限数	100時限

授業内容	○公衆衛生概説→公衆衛生の意義について理解させるとともに、公衆衛生が日常生活あるいは美容業とどのように結びつくか、公衆衛生の発展向上のために美容師として何をなすべきかを理解させる ○感染症→美容の業務を行う上で、どのような感染症に注意すべきかを具体的に示すとともに、その予防対策について系統的に理解させる ○環境衛生→環境衛生の意義と内容を理解させるとともに、美容所において特に注意しなければならない点について理解させる ○衛生管理技術→美容所における衛生管理、特に消毒の意義と目的について理解させる
授業目標	○公衆衛生の意義と本質を明らかにすることによって、美容師が公衆衛生の維持と増進とについて重大な責務を担わなければならない理由は何かを十分に理解させる 特に、環境衛生の意義と目的について、美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させる ○美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の保持との具体的な関連付けを重視して、美容における衛生措置の重要性について理解させる 特に、美容器具などの消毒法は、美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であるので、その意義と原理について十分に理解させるとともに、その適正な実施方法を身に付けさせる
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	担当教員は、1987年に美容師免許を取得し、多数の資格を取得しながら実務経験をつむ 現在では双方の経験を活かした授業を展開する

授業計画及び学習の内容

1	第1編 公衆衛生	52	第2章 消毒法各論
2	第1章 公衆衛生の概要（1節・2節・3節・4節）	53	（1節 化学的消毒法（殺菌法））
3	第2章 保健（1節1 母子保健）	54	
4	第2章 保健	55	第2章 消毒法各論
5	（1節2 成人、高齢者保健・1節3 精神保健）	56	（2節 化学的消毒法（殺菌法）
6		57	3節 すぐれた消毒法とその実施上の注意）
7	第1編 公衆衛生まとめ	58	第3章 消毒法実習
8		59	（1節 各種消毒薬・2節 理容所美容所の消毒
9		60	の 実際・3節 理容所美容所の清潔法の実
10		61	際）
11	第1編 公衆衛生まとめ・小テスト	62	第5編 衛生管理の実践例
12		63	第1章 理容所及び美容所における衛生管理要領
			第2章 理美容所の自主管理点検表

13	第2編 環境衛生	64	第4編 衛生管理技術まとめ
14	第1章 環境衛生	65	消毒薬使用液の希釈・計算練習問題
15	(1節 環境衛生の概要・2節 空気環境)	66	
16	第1章 環境衛生	67	第4編 衛生管理技術まとめ・小テスト
17	(2節 空気環境・3節 衣服、住居の衛生)	68	
18		69	
19	第1章 環境衛生	70	教科書全範囲 総復習
20	(4節 上下水道と廃棄物・	71	
21	5節 衛生害虫とネズミ・6節 環境保全)	72	
22	第2編 環境衛生まとめ・小テスト	73	教科書全範囲 総復習
23		74	
24		75	
25	第3編 感染症	76	教科書全範囲 総復習
26	第1章 感染症の総論	77	
27	(1節 人と感染症・2節 病原微生物)	78	
28	第1章 感染症の総論	79	教科書全範囲 総復習
29	(2節 病原微生物・3節 感染症の予防)	80	
30		81	
31	第2章 感染症の各論	82	教科書全範囲 総復習
32	(1節 理容業美容業と感染症	83	
33	2節 主な感染症)	84	
34	第2章 感染症の各論	85	教科書全範囲 総復習
35	(2節 主な感染症	86	
36	3節 具体的な対策の例)	87	
37	第3編 感染症まとめ	88	教科書全範囲 総復習
38		89	
39		90	
40	第3編 感染症まとめ・小テスト	91	教科書全範囲 総復習
41		92	
42		93	
43	第4編 衛生管理技術	94	国家試験対策
44	第1章 消毒法総論	95	
45	(1節 消毒とは・2節 消毒の意義)	96	
46	第1章 消毒法総論	97	国家試験対策
47	(3節 理容美容の業務と消毒との関係	98	
48	4節 消毒法と適用上の注意)	99	

49	第2章 消毒法各論 (1節 理学的消毒法（殺菌法）)	100
50		
51		

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	課目名	美容技術理論	学年	1・2年
担当教員	吉田 建介	学科	美容総合科（ヘアメイク）	時限数	166時限

授業内容	○美容で使用する器具→美容で使用する主な機械器具について物理の基本事項を学ばせるとともに、人間の手と器具の動き、美容器具の種類と特徴などについて理解させる ○基礎技術→美容技術の意義を学ばせ、技術を行う場合の心得を知らせる ○頭部、顔部及び頸部技術→スカルプトリートメント、ヘアトリートメント、ヘアシャンプー・ヘアリンス技術、ヘアカット、パーマ、カラーリング、ヘアセット、ヘアケアなどの基礎的な頭部技術の目的、種類、特徴、技術上の注意などについて学ばせる ○特殊技術→エステティック技術、ネイル技術などの美容の特殊技術の目的、種類、特徴、技術上の注意点などについて学ばせる ○和装技術→日本髪基礎知識、技術の実践について学ばせる ○美容デザイン→美容におけるヘアデザインの造形の意義とその応用などについて学ばせる
授業目標	○美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力とを身につけさせる ○美容の業務を安全かつ効果的に行うため、美容器具の正確な科学的知識と合理的思考に裏付けされた正しい取り扱いの方法と美容の基礎技術とを作業の実践に即して指導し習熟させること あわせて美容器具による危害を防止するための使用上の注意を学ばせること ○優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調する
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	担当教員は美容学校を卒業後、ヘアサロンにて13年の実務経験をつみ、その後本校教員となる 現在では双方の経験を活かした授業を展開する

授業計画及び学習の内容			
1	序章 美容理論と美容技術	85	10章 まつ毛エクステンション 小テスト
2		86	
3	序章 美容技術における作業姿勢	87	後期試験対策
4		88	
5	序章 人体各部の名称	89	後期試験対策
6		90	
7	序章 まとめ 小テスト	91	後期試験対策
8		92	

9	1章 美容用具：コーム、ブラシ	93	8章 エステティック概論
10		94	
11	1章 美容用具：シザーズ、レザー	95	8章 皮膚の生理と構造
12		96	
13	1章 美容用具：ピン類、ロッド、ローラー	97	8章 フェイシャルケア技術
14		98	
15	1章 美容用具：ヘアアイロン、ヘアドライヤー、ヘアスチーマー、遠赤外線機	99	8章 フェイシャル及びデコルテマッサージ
16		100	
17	1章 まとめ 小テスト	101	8章 まとめ 小テスト
18		102	
19	2章 シャンプーイング総論	103	9章 ネイル技術の種類
20		104	
21	2章 サイドシャンプー、バックシャンプー ヘッドスパ	105	9章 爪の構造と機能、爪のカット形状
22		106	
23	2章 リンス、コンディショナー、 トリートメント	107	9章 ネイル技術と公衆衛生
24		108	
25	2章 スカルプトリートメント	109	9章 ネイルケア、アーティフィシャルネイル
26		110	
27	2章 まとめ 小テスト	111	9章 まとめ 小テスト
28		112	
29	4章 ヘアカットिंगとは	113	3章 美容とデザイン
30		114	
31	4章 基礎理論、ベーシックなカット技法	115	3章 デザインの原理
32		116	
33	4章 シザーズによるカット技法	117	3章 まとめ 小テスト
34		118	

35	4章 レザーによるカット技法	119	11章 日本髪 of 名称、種類、特徴
36		120	
37	4章 まとめ 小テスト	121	11章 装飾品、結髪道具
38		122	
39	5章 パーマ剤の分類	123	11章 結髪技術
40		124	
41	5章 注意事項	125	11章 日本髪の手入れ、かつら
42		126	
43	5章 パーマネントウェーブ技術	127	11章 小テスト
44		128	
45	5章 ワインディングのバリエーション	129	12章 礼装、着物のいろいろ
46		130	
47	5章 まとめ 小テスト	131	12章 帯、小物
48		132	
49	前期試験対策	133	12章 留袖、振袖着付け技術
50		134	
51	6章 ヘアセッティングとは	135	12章 男子・女子、袴着付け技術
52		136	
53	6章 ヘアパーティング、ヘアシェーピング ヘアカーリング	137	12章 まとめ 小テスト
54		138	
55	6章 ブロードライ、アイロンセッティング	139	前期試験対策
56		140	
57	6章 アップスタイル、ウィッグとヘアピース	141	前期試験対策
58		142	
59	6章 まとめ 小テスト	143	前期試験対策
60		144	

61	7章 ヘアカラーの種類	145	国家試験対策
62		146	
63	7章 染毛のメカニズム	147	国家試験対策
64		148	
65	7章 色の基本	149	国家試験対策
66		150	
67	7章 酸化染毛剤の技術手順	151	国家試験対策
68		152	
69	7章 まとめ 小テスト	153	国家試験対策
70		154	
71	10章 メイクアップと色彩	155	国家試験対策
72		156	
73	10章 メイクアップの道具	157	国家試験対策
74		158	
75	10章 スキンケア、ベースメイク	159	国家試験対策
76		160	
77	10章 アイメイク、アイブロウメイク、リップメイク	161	
78		162	
79	10章 まとめ 小テスト	163	国家試験対策
80		164	
81	10章 まつ毛エクステンション	165	
82		166	
83	10章 まつ毛エクステンション		
84			

2025年度 シラバス

開講年度	2025年度	課目名	衛生管理	学年	1・2年
担当教員	金子 真弓	学科	美容総合科（ヘアメイク）	時限数	100時限

授業内容	○公衆衛生概説→公衆衛生の意義について理解させるとともに、公衆衛生が日常生活あるいは美容業とどのように結びつくか、公衆衛生の発展向上のために美容師として何をなすべきかを理解させる ○感染症→美容の業務を行う上で、どのような感染症に注意すべきかを具体的に示すとともに、その予防対策について系統的に理解させる ○環境衛生→環境衛生の意義と内容を理解させるとともに、美容所において特に注意しなければならない点について理解させる ○衛生管理技術→美容所における衛生管理、特に消毒の意義と目的について理解させる
授業目標	○公衆衛生の意義と本質を明らかにすることによって、美容師が公衆衛生の維持と増進とについて重大な責務を担わなければならない理由は何かを十分に理解させる 特に、環境衛生の意義と目的について、美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させる ○美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の保持との具体的な関連付けを重視して、美容における衛生措置の重要性について理解させる 特に、美容器具などの消毒法は、美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であるので、その意義と原理について十分に理解させるとともに、その適正な実施方法を身に付けさせる
成績評価方法	前期と後期の2期制で筆記試験をおこなう 100点満点中60点を合格とし不合格の場合は再試験を受けること
授業の方法	講義形式を基本とする座学
講師紹介	担当教員は、1987年に美容師免許を取得し、多数の資格を取得しながら実務経験をつむ 現在では双方の経験を活かした授業を展開する

授業計画及び学習の内容

1	第1編 公衆衛生	51	第2章 消毒法各論
2	第1章 公衆衛生の概要（1節・2節・3節・4節）	52	（1節 理学的消毒法（殺菌法））
3	第2章 保健	53	第2章 消毒法各論
4	（1節1 母子保健・1節2 成人、高齢者保健）	54	（1節 理学的消毒法（殺菌法））
5	第2章 保健	55	第2章 消毒法各論
6	（1節2 成人、高齢者保健）	56	（2節 化学的消毒法（殺菌法））
7	第2章 保健	57	第2章 消毒法各論
8	（1節3 精神保健）	58	（2節 化学的消毒法（殺菌法）） 3節 すぐれた消毒法とその実施上の注意）

9	第1編 公衆衛生まとめ	59	第3章 消毒法実習 (1節 各種消毒薬)
10		60	
11	第1編 公衆衛生まとめ・小テスト	61	第3章 消毒法実習 (2節 理容所美容所の消毒の実際)
12		62	
13	第2編 環境衛生	63	第3章 消毒法実習 (3節 理容所美容所の清潔法の実際)
14	第1章 環境衛生 (1節 環境衛生の概要)	64	
15	第1章 環境衛生 (2節 空気環境)	65	第4編 衛生管理技術まとめ
16		66	
17	第1章 環境衛生 (3節 衣服、住居の衛生)	67	第4編 衛生管理技術まとめ
18		68	
19	第1章 環境衛生 (4節 上下水道と廃棄物・5節 衛生害虫と ネズミ・6節 環境保全)	69	第4編 衛生管理技術まとめ・小テスト
20		70	
21	第2編 環境衛生まとめ	71	第4編 衛生管理技術まとめ・小テスト
22		72	
23	第2編 環境衛生まとめ・小テスト	73	消毒薬使用液の希釈・計算練習問題
24		74	
25	第3編 感染症	75	教科書全範囲 総復習
26	第1章 感染症の総論 (1節 人と感染症)	76	
27	第1章 感染症の総論 (1節 人と感染症・2節 病原微生物)	77	教科書全範囲 総復習
28		78	
29	第1章 感染症の総論 (2節 病原微生物・3節 感染症の予防)	79	教科書全範囲 総復習
30		80	
31	第2章 感染症の各論 (1節 理容業美容業と感染症・2節 主な 感染症)	81	教科書全範囲 総復習
32		82	
33	第2章 感染症の各論 (2節 主な感染症)	83	教科書全範囲 総復習
34		84	

35	第2章 感染症の各論（3節 具体的な対策の例）	85	教科書全範囲 総復習
36		86	
37	第3編 感染症まとめ	87	教科書全範囲 総復習
38		88	
39	第3編 感染症まとめ	89	教科書全範囲 総復習
40		90	
41	第3編 感染症まとめ・小テスト	91	教科書全範囲 総復習
42		92	
43	第3編 感染症まとめ・小テスト	93	国家試験対策
44		94	
45	第4編 衛生管理技術	95	
46	第1章 消毒法総論 （1節 消毒とは・2節 消毒の意義）	96	
47	第1章 消毒法総論 （3節 理容美容の業務と消毒との関係	97	国家試験対策
48	4節 消毒法と適用上の注意）	98	
49	第1章 消毒法総論	99	
50	（4節 消毒法と適用上の注意）	100	

